



友好都市協定書

神奈川県葉山町と栃木県那須町は、御用邸が所在する自治体として、産業、経済、観光、文化、教育、防災など幅広い分野における交流を通じて、相互の信頼と理解を深め、これまでの友好関係をさらに推進するため、友好都市協定を締結します。

令和3年5月8日

神奈川県
葉山町長

栃木県
那須町長

山梨 崇仁

平山 幸宏

友好都市協定締結式

締結式には、両町長のほか、池澤昇秋町議会議長、葉山町の伊東圭介議会議長、来賓として宮内府那須御用邸管理事務所の佐藤時仁所長が出席しました。

両町長は協定書に署名し、産業経済、観光、文化、教育、防災など幅広い分野での交流を通じ、相互の信頼と理解を深め、友好関係をさらに推進していくことを確認しました。

この協定に基づき、今後、政策等の情報交換と質の向上に向けた研さん、災害時の相互連携と支援観光・スポーツ・文化などの分野での相互連携、子どもたちの海・山体験交流事業などを予定しています。

平山幸宏 那須町長



友好都市協定の締結ができたこと、大変うれしく喜びに堪えません。

御用邸が所在する自治体として、これまで相互に交流を続けてまいりました。現存する御用邸として葉山御用邸は明治27年から、那須御用邸は大正15年から所在し、私

山梨崇仁 葉山町長



御用邸とともに発展してきた歴史を共有する那須町と友好都市の協定を結べますこと、議会や関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

御用邸、そして別荘文化がある町というのは、過ごしやすく、安らぎの空間が提供できる素晴らしい

たちは御用邸とともに歴史を歩んできました。

葉山町は温暖な気候で、マリンスポーツが盛んだとお聞きしております。那須町では、平成23年に当時の明仁天皇陛下のご意向により御用邸敷地の約半分にあたる約570ヘクタールが一般開放され、「那須平成の森」が開園しました。海と山、その違いを生かしながら観光・物産面も含め、教育・文化・経済など、さまざまな分野で交流を深め、信頼を築き、夢ある未来へとつなげていきたいと考えております。

い環境がある町だと考えています。行政としてこれを守っていくこと、将来へつないでいくこと、また町民の皆さんがここに住むことを誇りに思ってもらえたら良いと思っております。

そのために、この友好都市というつながりを基本として、お互いの町の良いところを交換しながら子どもたちの交流やスポーツ・文化を通じた交流を重ねて、お互いを高め合っている関係が築けたら、また、同じく御用邸を有する下田市とも1市2町の連携ができたら良いなと思っております。

協定締結のメリット

- 友好都市協定を締結することにより、次のようなメリットが考えられます。
- 交流をさらに深め、相互協力を進化させることにより、さらなる交流人口の増加が期待できます。
- 災害時の相互支援により迅速な災害復興を図ることができます。
- 両町の特産物等の販売促進による産業振興を図ることができます。
- 教育、文化、スポーツなどの多角的な交流を通じ、町民生活に潤いを与え、町民生活を豊かにすることができま。



(左から)池澤議長、平山町長、葉山町の山梨崇仁町長、同町議会の伊東圭介議長